

プログラム 9月24日(日)

第1会場 1F コンベンションホールA

8:00~9:00 モーニングセミナー 1【表皮機能とアレルギー】

座長: 島田 眞路 (山梨大学長)
戸倉 新樹 (浜松医大)

MS1-1 ミトコンドリアから覗く角化の機序
阿部 理一郎(新潟大)

MS1-2 皮膚バリアとアレルギーの接点
山本 明美(旭川医大)

共催: 常盤薬品工業株式会社 ノブ事業部

9:15~11:45 シンポジウム 4
【皮膚病をもっと好きになるために~雑誌「皮膚病診療」とのコラボ企画~】

座長: 浅井 俊弥 (浅井皮膚科クリニック)
山本 俊幸 (福島県立医大)

第一部「皮膚病診療の今」

SY4-1 皮膚病診療の歴史とこれから
西岡 清(兵庫医大)

SY4-2 記憶に残るテーマ、症例を振り返る
斉藤 隆三((株)ピーシーエルジャパン)

SY4-3 編集委員の苦勞~論文執筆者に求めること
向井 秀樹(東邦大医療センター大橋病院)

第二部「皮膚病診療を、より面白くするには」

SY4-4 “らしさ”を追って
栗原 誠一(湘南皮膚科 神奈川県平塚市)

SY4-5 「創刊号からの読者より」 chief editor 4代が立てた道標
井上 勝平(井上医院 長野県飯田市、宮崎大名誉教授)

SY4-6 皮膚病診療をもっと身近に
清島 真理子(岐阜大)

SY4-7 HSが日本語皮膚科雑誌の頂点に君臨するために
田中 勝(東京女子医大東医療センター)

第三部「皮膚病診療の未来～症例アーカイブス」

SY4-8 進化する皮膚病診療

浅井 俊弥(浅井皮膚科クリニック/皮膚病診療 editor)

質疑応答～フロアからご自由にご発言下さい

12:00～13:00

ランチョンセミナー 6【皮膚疾患における抗ヒスタミン薬の役割】

座長:横関 博雄(東京医科歯科大)

相場 節也(東北大)

LS6-1

脳科学で明らかにされる抗ヒスタミン薬の鎮静性副作用の機序と定量的評価

田代 学(東北大サイクロトロン・RI センターサイクロトロン核医学研究部)

LS6-2

蕁麻疹診療ガイドライン改訂の状況

秀 道広(広島大)

共催:大鵬薬品工業株式会社

13:10～14:10

特別企画【福島県地域医療の現状～震災から6年を経て】

座長:相場 節也(東北大)

大槻 マミ太郎(自治医大)

川内 康弘(東京医大茨城医療センター)

SP-1

大学を中心とする皮膚科診療の現状

花見 由華、香曾我部 絹子、遠藤 麻衣、山本 美友貴、猪狩 翔平、伊藤 崇、
石川 真郷、森 龍彦、平岩 朋子、本多 皓、菊池 信之、加藤 保信、佐藤 正隆、
大塚 幹夫、山本 俊幸
(福島県立医大)

SP-2

「ほんまもん」への道

岸本 和裕(竹田総合病院)

SP-3

福島県皮膚科医療～震災から6年6か月を経て～

山本 俊幸(福島県立医大)

14:30～16:30

平成29年度日本皮膚科学会東部支部企画研修講習会
【稀ではあるが大切な疾患】

座長:出光 俊郎(自治医大さいたま医療センター)

川村 龍吉(山梨大)

好中球性皮膚症一症例から学ぶー

岩月 啓氏(岡山大)

皮膚への沈着から疑うべき全身性疾患

末木 博彦(昭和大)

第2会場 1F コンベンションホールB

9月24日(日)
プログラム

8:00~9:00	モーニングセミナー2【アトピー性皮膚炎のこれから】	座長:奥山 隆平(信州大) 片山 一朗(大阪大)
MS2-1	アトピー性皮膚炎の病態と新規治療薬のターゲット—overview— 川村 龍吉(山梨大)	
MS2-2	痒みを指標にしたアトピー性皮膚炎の診療 加藤 則人(京都府立医大)	
		共催:田辺三菱製薬株式会社
9:15~10:45	シンポジウム5 【皮膚疾患を巡る興味深い現象～ケブネル現象と自然消退現象の病態に迫る～】	座長:中村 晃一郎(埼玉医大) 奥山 隆平(信州大)
SY5-1	ケブネル現象—私はこう考える 塩原 哲夫、水川 良子 (杏林大)	
SY5-2	皮膚腫瘍の自然消退:良性なほもて消退す。いはんや悪性をや 村田 洋三(神戸市立医療センター中央市民病院)	
10:50~11:50	特別講演4	座長:相原 道子(横浜市立大)
SL4	小児の発疹症とその合併症 細矢 光亮(福島県立医大小児科学講座)	
12:00~13:00	ランチョンセミナー7【改めて考える乾癬 Bio 治療とその留意点】	座長:天野 博雄(岩手医大) 川田 暁(近畿大)
LS7-1	乾癬 Bio 治療のもたらしたのもの～ステラーラ®の開発から実際の診療の留意点まで～ 十一 英子(国立病院機構京都医療センター)	
LS7-2	改めて考える高齢者における乾癬治療 朝比奈 昭彦(東京慈恵会医大)	
		共催:ヤンセンファーマ株式会社

13:10~14:20 東部支部企画 CPC 「大学間の垣根を越えた CPC」

総合司会:大塚 幹夫 (福島県立医大)
座長:山元 修 (鳥取大)
安齋 眞一 (日本医大武蔵小杉病院)

企画概要:

東部支部所属の各大学から2名前後の若手医師を選出して参加頂く企画です。CPC 選手は、学会前日に異なった大学の方とグループを組み、共同で全例の CPC 症例について討議し、最終診断を付けます(プレ CPC)。プレ CPC で検討した内容を9月24日(日)の CPC で各グループの代表者が1題ずつ発表し、座長の先生が病理診断のポイントや鑑別診断などを解説します。

第3会場

3F 中会議室 A

8:00~9:00 モーニングセミナー 3 【尋常性乾癬治療—効果的な治療選択と外用療法】

座長:佐野 栄紀 (高知大)
大久保 ゆかり (東京医大)

MS3-1 乾癬外用療法を再考する
山口 由衣(横浜市立大)

MS3-2 尋常性乾癬の外用薬のファーストラインとなるステロイド・ビタミン D₃配合外用薬
森田 明理(名古屋市立大)

共催:レオ ファーマ株式会社/協和発酵キリン株式会社

9:30~10:25 一般演題 12 【母斑症・間葉系・その他】

座長:松崎 康司 (弘前大)
澄川 靖之 (札幌医大)

O-60 皮膚病変を伴った菊池病の1例
森 龍彦¹、山本 俊幸¹、池田 和彦²
¹福島県立医大、²福島県立医大血液内科

O-61 下肢静脈瘤と難治性下腿潰瘍を合併した Marfan 症候群
喜多野 誠哉、中澤 慎介、増田 百合香、龍野 一樹、戸倉 新樹
浜松医大

O-62 Birt-Hogg-Dube 症候群の2例
松田 智子、植田 郁子、山崎 文和、神戸 直智、Chuyen Nguyen
関西医大

O-63* 頭部に生じた表在性皮膚脂肪腫性母斑
沼尻 宏子、宮川 卓也、尾松 淳、船水 薫、三枝 良輔、平川 麻衣子、山田 大資、
増井 友里、浅野 善英、佐藤 伸一
東京大

- O-64 左前頭部に生じた浅側頭動脈瘤の1例
水澤 雄太、山田 勝裕、長田 真一、眞鍋 求
秋田大
- O-65 右頸部リンパ節梗塞の1例
森 直哉¹、牧野 輝彦¹、鹿児島 浩¹、原 寛¹、三輪 重治²、井村 穰二²、清水 忠道¹
¹富山大、²富山大病理診断学

10:30~11:05 一般演題 13【蕁麻疹、薬疹・中毒疹 1】

座長:橋爪 秀夫(市立島田市民病院)
盛山 吉弘(土浦協同病院)

- O-66*[†] 病勢に血清 TARC 値と体重が相関した non-episodic angioedema with eosinophilia の1例
朝倉 涼平、熊谷 宜子、横山 知明
静岡市立清水病院
- O-67 モガムリズマブ投与後にみられた papulosquamous eruption
菅野 恭子、本間 大、山本 明美
旭川医大
- O-68 肝移植後の急性 GVHD の1例
福島 彩乃¹、栗原 佑一¹、船越 建¹、甲田 祐也²、櫻井 政寿²、日比 泰造³、篠田 昌宏³、天谷 雅行¹
¹慶應義塾大、²慶應義塾大血液内科、³慶應義塾大一般・消化器外科
- O-69 マイコプラズマ感染による Stevens-Johnson 症候群の組織学的検討
勝見 達也¹、濱 菜摘¹、岩井 由樹¹、木村 浄土¹、鈴木 丈雄¹、杉原 夏子¹、阿部 理一郎¹、茂呂 寛²、布施 理子³、大橋 伯³、大塚 岳人³、丸山 友裕⁴
¹新潟大、²新潟大呼吸器・感染症内科、³新潟大小児科、⁴皮膚科まるやまクリニック 新潟県新潟市

11:10~11:40 一般演題 14【蕁麻疹、薬疹・中毒疹 2】

座長:白濱 茂穂(聖隷三方原病院)
橋本 喜夫(旭川厚生病院)

- O-70 エルロチニブによる下腿の紫斑型薬疹の2例
宇野 優¹、石氏 陽三¹、中川 秀己¹、内海 裕文²
¹東京慈恵会医大、²東京慈恵会医大呼吸器内科
- O-71*[†] アニサキスによるアナフィラキシーを4回経験している患者への食事指導について
飯島 茂子¹、小城 一見¹、高山 典子¹、有田 由美子²、嶋倉 邦嘉³、粕谷 志郎⁴
¹はなみずきクリニック 茨城県牛久市、
²有田内科整形リハビリクリニック 茨城県取手市、³東京海洋大海洋科学部、
⁴岐阜勤労者医療協会

- O-72* ガドリニウム造影剤（ガドブトロール）による遅延型アレルギー性薬疹の1例
永井 宏、錦織 千佳子
神戸大
- O-73*† 湿疹や瘢痕様病変がみられたインスリンアレルギーの2例
角田 孝彦、佐藤 文子
山形市立病院済生館

12:00~13:00 ランチョンセミナー 8 【今、带状疱疹治療は新しい時代へ】

座長：渡辺 大輔（愛知医大）
今福 信一（福岡大）

- LS8-1 抗ヘルペスウイルス薬に求められる要素とは？
浅田 秀夫（奈良医大）
- LS8-2 臨床から見えてくる带状疱疹
菅井 順一（菅井皮膚科パークサイドクリニック 栃木県宇都宮市）

共催：マルホ株式会社

13:10~14:05 一般演題 15 【感染症・治療】

座長：村田 哲（自治医大）
角田 孝彦（山形市立病院済生館）

- O-74*† 母の带状疱疹を契機に水痘を発症した SLE の 1 例
皆川 智子¹、金子 高英¹、牧田 瑛子¹、中野 創¹、澤村 大輔¹、中村 典雄²、櫻庭 裕丈³
¹弘前大、²弘前大循環器・腎臓内科、³弘前大消化器・血液・膠原病内科
- O-75* 水害の関与が疑われた *Scedosporium apiospermum* による下肢深在性真菌症
吉岡 華子¹、石塚 洋典¹、松村 裕¹、大矢 一正¹、中村 貴之¹、藤本 学¹、人見 重美²
¹筑波大、²筑波大感染症科
- O-76* 交通事故による顔面挫創部に生じた皮膚ノカルジア症の1例
高橋 彩、高村 さおり、寺木 祐一
埼玉医大総合医療センター
- O-77 带状疱疹急性期痛に対してアセトアミノフェン 1800mg/日を適宜併用し
非ステロイド系抗炎症薬の頓服で加療した症例の臨床的検討
三井田 博¹、有波 浩¹、結城 大介^{1,2}、斎藤 勇輝^{1,2}
¹新潟県立新発田病院、²新潟大
- O-78*† 褥瘡を予防できる新たな治療法を目指して：褥瘡モデルマウスを用いた検討
関口 明子、茂木 精一郎、内山 明彦、上原 顕仁、藤原 千紗子、山崎 咲保里
群馬大

- 0-79[†] 爪白癬に対するエフィナコナゾールの治療効果と患者アンケートによる治療満足度
大嶋 雄一郎¹、安藤 高志²、佐藤 有規奈¹、柳下 武士¹、岩下 宣彦¹、竹尾 友宏¹、
武藤 潤¹、渡辺 大輔¹、安藤 聖美³
¹愛知医大、²トヨタ記念病院、³みよし市民病院
- 0-80[†] 仙骨部、坐骨部の難治性褥瘡に対する名古屋市立大学病院での治療プロトコル
堀尾 愛、加藤 裕史、松原 章宏、真木 章仁、森田 明理
名古屋市立大

第4会場

3F 中会議室 B

8:00~9:00	モーニングセミナー 4
	座長:杉浦 互 (グラクソ・スミスクライン株式会社 メディカル・アフェアーズ部門)
MS4	ザガーロ アップデート ～市販直後調査報告・泌尿器科医のデュタステリド使用経験～ 畠中 俊樹、河野 吉昭 (グラクソ・スミスクライン株式会社 メディカル・アフェアーズ部門)
	共催:グラクソ・スミスクライン株式会社
9:40~10:35	一般演題 16 【上皮系腫瘍】
	座長:狩野 俊幸 (茨城県立中央病院・地域がんセンター) 藤村 卓 (東北大)
0-81 [†]	若年男性に生じた多発性陰嚢粉瘤症の1例 日置 智之、平野 智子、神谷 浩二、前川 武雄、小宮根 真弓、村田 哲、 大槻 マミ太郎 自治医大
0-82 [†]	頸部に生じた原発性皮膚印環細胞癌の1例 吉田 杏子、石井 まどか、藤田 英樹、照井 正 日本大
0-83	頭部に生じたらせん腺癌の1例 尾松 淳、三枝 良輔、遠山 聡、沼尻 宏子、船水 薫、平川 麻衣子、宮川 卓也、 赤股 要、山田 大資、浅野 善英、佐藤 伸一 東京大
0-84 ^{††}	TS-1 併用放射線療法が有用であった高齢者有棘細胞癌の1例 村田 壺大、齋藤 亨、林 昌浩、川口 雅一、鈴木 民夫 山形大
0-85	転移性皮膚癌の予後と治療—新潟がんセンター 260 例の解析— 齋藤 勇輝 ^{1,2} 、虎井 遼太郎 ^{1,3} 、高塚 純子 ¹ 、竹之内 辰也 ¹ ¹ 新潟県立がんセンター、 ² 新潟大、 ³ 富山大

- 0-86 高齢者における非メラノーマ皮膚がん転移症例に対する治療の検討
大塚 正樹、川平 尚生、吉川 周佐、清原 祥夫
静岡がんセンター
- 0-87* 皮膚悪性リンパ腫が疑われた、ケラトアカントーマの1例
天貝 諒、古舘 禎騎、山下 千佳紗、武田 佳奈、山崎 絵美、玉瀨 めい、
土山 健一郎、浅野 雅之、藤村 卓、橋本 彰、菊地 克子、相場 節也
東北大
- 0-88*† 頭頂部紅色結節の1例—spindle cell SCC と Atypical fibro xanthoma の鑑別について—
竹治 真明¹、緒方 大¹、塩味 達也¹、柳澤 宏人¹、中村 晃一郎¹、倉持 朗¹、
新井 栄一²、土田 哲也¹
¹埼玉医大、²埼玉医大国際医療センター病理診断科

10:45~11:35 一般演題 17 【悪性黒色腫】

座長：松本 和彦（信州大臨床試験センター）
須山 孝雪（獨協医大越谷病院）

- 0-89*† 癌性髄膜炎をきたした悪性黒色腫の1例
石津 聡美、吉田 雄一、江原 由布子、後藤 寛之、山元 修
鳥取大
- 0-90 集学的治療により改善をみとめた腔原発悪性黒色腫の1例
大庭 雅子、伊藤 宗成、延山 嘉眞、中川 秀己
東京慈恵会医大
- 0-91 イピリムマブ投与後の肝機能障害に対しアザチオプリンにて軽快した大腿悪性黒色腫の1例
永井 幸司郎、菰田 明依、西牧 美幸、生野 由起、吉野 公二
都立駒込病院
- 0-92 ニボルマブ投与中に皮膚症状を生じた悪性黒色腫の4例
菊池 信之、大塚 幹夫、山本 俊幸
福島県立医大
- 0-93* 原発性肺癌が併発した悪性黒色腫の3例
水野 絵里香、満間 照之、日高 友梨、白井 三由希、相山 明輝
一宮市立市民病院
- 0-94† 悪性黒色腫の予後予測因子と抗PD-1抗体療法のバイオマーカーの探索
諏訪 学、中村 謙太、芦田 敦子、木庭 幸子、奥山 隆平
信州大

12:00~13:00 ランチョンセミナー 9

【乾癬のメカニズムと生物学的製剤—深掘りして分かること—】

座長:池田 志孝 (順天堂大)
鈴木 民夫 (山形大)

LS9-1 分子病態解明が進む膿疱性乾癬の治療標的
杉浦 一充 (藤田保健衛生大)

LS9-2 乾癬病態の実践的理解—T細胞軸と表皮細胞軸—
佐藤 伸一 (東京大)

共催:協和発酵キリン株式会社

13:10~14:15 一般演題 18 【間葉系疾患】

座長:梅林 芳弘 (東京医大八王子医療センター)
前川 武雄 (自治医大)

O-95 頭部血管肉腫治療中にパクリタキセルによる間質性肺炎を発症した 1 例
戸村 八蓉生、能登 舞、山田 勝裕、長田 真一、眞鍋 求
秋田大

O-96[†] 皮膚 Rosai-Dorfman 病の 1 例
神永 朋子¹、林 周次郎¹、齋藤 友紀¹、濱崎 洋一郎¹、籠持 淳¹、黒田 一²、小島 勝²、
今井 康雄²、梶谷 ゆかり³、井川 健¹
¹獨協医大、²獨協医大病理診断科、³いちいクリニック 栃木県日光市

O-97[†] 顔面の黄色腫を合併した多中心性細網組織球症の 1 例
本多 皓、山本 俊幸
福島県立医大

O-98 USP6 遺伝子再構成がみられた小児の頭部結節性筋膜炎の 1 例
九穂 尚子¹、吉田 亜希¹、岸 晶子¹、大原 國章¹、吉本 豊毅²、元井 亨³、林 伸和¹
¹虎の門病院、²虎の門病院病理部、³都立駒込病院病理科

O-99[†] 診断に苦慮している CD34 陽性多形細胞腫瘍の鑑別疾患と免疫組織学的所見
岡田 寛文¹、神谷 浩二¹、前川 武雄¹、小宮根 真弓¹、村田 哲¹、大槻 マミ太郎¹、
阿南 隆²、松山 篤二³
¹自治医大、²札幌病理診断科 北海道札幌市、³産業医大第一病理

O-100 Nuchal type fibroma の 1 例
真木 章仁、加藤 裕史、奥田 佳世子、松原 章宏、堀尾 愛、森田 明理
名古屋市立大

O-101 Hypereosinophilic syndrome の 1 例
猪狩 翔平¹、松村 奈津子¹、森 龍彦¹、本多 皓¹、山本 俊幸¹、保母 彩子²
¹福島県立医大、²医療法人信誠会ゆうクリニック

第5会場

4F プレゼンテーションルーム

8:00~9:00	モーニングセミナー 5 【なぜ今、デュアックがファーストチョイスか】 座長:宮地 良樹 (滋賀県立成人病センター、京都大名誉教授) 窪田 泰夫 (香川大)
MS5-1	痤瘡治療における抗菌剤の立ち位置再考 山崎 研志(東北大)
MS5-2	痤瘡治療におけるデュアック使用の工夫 高橋 英俊(高木皮膚科診療所 北海道帯広市)
共催:株式会社ポーラファルマ	
12:00~13:00	ランチョンセミナー 10 【メラノーマ治療における Immuno/Target Therapy による最新治療を学ぶ】 座長:清原 祥夫 (静岡県立静岡がんセンター) 爲政 大幾 (大阪国際がんセンター)
LS10-1	メラノーマの治療戦略—目指すべきゴールはどこか— 竹之内 辰也(新潟県立がんセンター新潟病院)
LS10-2	メラノーマの分子標的治療—今後の展望と治療の実際— 並川 健二郎(国立がん研究センター中央病院)
共催:ノバルティス ファーマ株式会社	
14:00~16:00	皮膚科スペシャリティーナーズ講習会 (ビデオ講義)

第116回日本皮膚科学会総会(2017年6月・仙台)で開催された
皮膚科スペシャリティーナーズ講習会の講義の内容を上映いたします。